

5月18日(土)には、春季大運動会が行われました。自分たちで進める運動会をテーマに、子どもたちは毎日の練習の成果を十分に発揮し、全力で取り組めた一日となりました。後片づけが終わって、児童玄関につくや否や、バタッと座り込み、しばらく動けない児童もいました。気力も体力もすべて使い果たした子どもたち、その頑張りはきっとこれからの糧となることに違いありません。

運動会の中で、1つ困ったことがありました。それは、紅白引き分けとなり、優勝カップをどちらに渡すかです…

内々で結果が分かってから表彰までの3分間、脳の隅々まで使って考えました。その中で、一番大切に思っていたことが、子どもたちがちゃんと納得する方法でした。

結論としては、優勝カップはどちらの陣地にも持っていかず、子どもたちが整列している真ん中に置くことにしました。このことで一番配慮したのが優勝カップを代表でもらう応援団長です。2人に一番最初に相談したらそれでよいといってくれました。その後、全体にも伝え、もしかしたら納得してくれた人は全員ではないかもしれませんが、中央に置くことができました。

運動会の中での同点は、私にとって教師人生初めての経験です。それだけ、子どもたちは、本当に全力で戦い抜いたのだと思います。

子どもたちの一生懸命な姿は、我々教職員にとって最高の瞬間ですね。

今年度のテーマ
「挑戦」

～挑戦の分かれ道～

